

2005. 4. 24

# キャンパスに宝石

メルシャン  
美術館 シェロラ 展開幕

ベルギーの前衛作家、パトリック・シェロラ氏の展覧会が二十三日、北佐久郡御代田町のメルシヤン軽井沢美術館で開幕した。今回の展覧会に向け、宝石をちりばめた新作「祭り」は、まばゆい輝きを放ち、鑑賞者の目を引き付けている。写真。

初日のオープニングには、シェロラ氏が出席し、数点の作品について制作意図などを説明。会場には、風景を描いたフレスコ画六十点、ブリュッセル名物の小便小僧に彩色したオブジェ四十二点が展示されている。

目玉の「祭り」は、日本の祭りをイメージした色彩豊かな抽象作品。ベルギーの宝飾メーカー、ディアマーニ社の世界四大宝石（ダイヤモンド、サファイア、ルビー、エ

メルラルド）をそれぞれ二十五個、合わせて二七・九八羽があしらわれている。シェロラ氏が作品に宝石を取り入れたのは初めての試みという。シェロラ氏は一九五九年、ブリュッセル生まれ。八三年から創作活動の拠点を日本に移した。作風は「自然の素材を利用して自ら色をつくり出し、作品に用いている」という。来館者は、色彩感覚の鋭い独自の風景画に、感心して見入っていた。

七月三日まで。入館料は一般八百円、大学生六百円、中・高校生五百円、小学生三百円。五月五日の「こどもの日」は中学生以下が無料になる。問い合わせは同美術館 ☎0267・32・0288。

